

環境出前授業プログラム一覧（１／２）

ごみの分別や3R、買い物や地産地消でできるエコ、地球温暖化・気候変動への世界、日本、川崎の取り組みなどをテーマに、体験型やゲームで楽しみながら学べる多彩なプログラムを、市民活動グループ、川崎市地球温暖化防止活動推進センターで実施しています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

2025年4月

ジャンル	No	タイトル	ねらい	内容	所要時間	担当グループ
温暖化・脱炭素	1	脱炭素とSDGs 3Rとごみ・マイクロプラスチック・食品ロス	適切な分別の大切さとごみを減らす生活が地球温暖化防止・脱炭素につながることを学ぶ 今問題のマイクロプラスチックや「食品ロス」について、SDGsの目標とともに学ぶ	① 3Rや川崎市のごみ減量に向けた取り組みや分別(8分) ② 「食品ロス」と「マイクロプラスチック」の説明(各8分) ③ 事業者の取組むさまざまなリサイクル(8分) ④ 分別体験ゲームまたは3Rカードゲーム（選択可）(10分)	約40分	3R推進プロジェクト
	2	SDGs 地球温暖化とは～見て、触れて、感じて～	温暖化の仕組みを理解し、電気の使用と二酸化炭素発生との関係を理解し、SDGsとの関係を知り、自分や家庭でできる省エネ内容を考え、実行・継続するキッカケとする	①温暖化の仕組み、世界・日本で起っている異常現象等を学び、自分にできる省エネ活動は何か考える ②エネルギーは疲れる！ 手回し発電機で、エネルギーを作り出す実験、更に電球の種類と二酸化炭素発生、電気代の違いを実体験する	45分	省エネグループ
	3	脱炭素とSDGsを具体的に衣食住についてゲームやワークショップで学ぼう！	エコライフの必要性を地球温暖化とSDGsの関連で理解し、日常の生活のなかで取り組める買ひものを通して、脱炭素社会、循環型社会、プラスチックフリー実践へと導く	学校の要望に応じて、衣食住のそれぞれの分野に特化したり、ワークショップ形式やゲーム形式、すごろく作りなど、内容をカスタマイズする 具体的には衣食住のそれぞれの分野から、サステナブルファッション、食品ロス、地産地消、国産材活用、自分たちが取り組める脱炭素やSDGsの取組の実践につなげていく	約40分	グリーンコンシューマーグループ かわさき
	4	カーボンフットプリント・ゲームで学ぶ「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」	食べる、住む、移動する、買う、遊ぶから、二酸化炭素が発生している。どうすれば、2050年に脱炭素を実現し、温暖化を止めることができるか、ゲームを通して学ぶ	①地球温暖化の仕組み、課題を学ぶ ②カーボンフットプリント・ゲームで、毎日の生活の中で、二酸化炭素(CO2)を減らし温暖化を止める方法を学ぶ ③(2時間版)カーボン・フットプリント(二酸化炭素の足跡)で、分野別CO2排出、国毎のCO2排出量を学ぶ	約40分	環境教育学習プロジェクト
	5	気候変動適応＜影響に備える＞のミステリー(探求学習)	台風・水害、農作物への影響、熱中等、様々な気候変動の影響に気づき、その問題に対応する「気候変動適応策Ⅱ」について学び、出来ることを考えます	①ミステリーカードに書かれている「気候変動」は本当に起っているか、ワークシートで学びます ②その問題が身近なところでも起っているか、また、どのような対策があるか、何をしていくことが必要かを考えます	約40分	環境教育学習プロジェクト
SDGs	6	脱炭素・温暖化をSDGs環境カードから学ぶ	脱炭素・温暖化について、SDGsの環境についての目標カードから学び、クイズで知識を広げ、グループで話し合い、未来を描き、できることを考え、実践活動につなげていく	①脱炭素・SDGs、3R（10分） ②環境に関する目標6・7・12・13・14・15の説明(13分) ③ワークシートの説明（2分） ④グループワーク SDGsカードを手元に置きワークシート記入(9分) ⑤グループの発表（9分） ⑥まとめ（2分）	約45分	3R推進プロジェクト
	7	カードで学ぶSDGsと3R	食品ロスやマイクロプラスチック等の問題が環境だけでなく社会や経済、SDGsの目標がどのようにつながっているかを学ぶ。SDGsカードを使い自分に出来る事の実践につなげる。	①3R、脱炭素とは何か。川崎市の取り組み ②プラスチック(プラスチック資源循環促進法含む) ③食品ロスについて ④SDGsカードから気になる目標を選んでクイズに挑戦！（10分） ⑤発表しよう(5分) ⑥まとめ(3分)	約40分	3R推進プロジェクト
	8	気候変動対策からSDGsを学び、SDGsへの取り組み実践を考える	市内の様々な気候変動対策を知り、SDGsの視点～複雑性、関係性、統合性～を学び、脱炭素への提案から、SDGsのゴールを目指して、出来ることを考える	①世界で起っている異常気象、温暖化の影響を知る ②市内の市民、企業、役所の様々な気候変動対策を知る ③生活を変えることが二酸化炭素削減につながることを学ぶ ④SDGsの複雑性、関係性、統合性を学び、個人、家庭、地域でできるSDGs実践を考える	約40分	環境教育学習プロジェクト
エネルギー	9	お日さまエネルギーを体験しよう 地球温暖化と自然エネルギー	地球温暖化を止めるためには化石エネルギーを再生可能エネルギーに変える必要があることを知る。災害時、停電時にも役立つ太陽光発電、太陽熱利用を紹介する	地球温暖化の現状、2050年までにCO2を実質ゼロにする必要があること、再生可能エネルギーの可能性を説明する 屋外で太陽光発電と太陽熱利用のソーラークッキングを体験する。太陽光設置学校ではどれだけ発電して学校で使われているかを説明する	約45分	ソーラーチーム
	10	節電にみんなで取り組もう！	電気の供給量と需要量の関係、なぜ節電が必要かを理解してもらい、自分や家庭でできる節電内容を考え、実行・継続するキッカケとする	①節電の必要性を理解し、更に家庭での消費電力量を把握し、自分たちで取り組む節電を考える ②エネルギーは疲れる！ 手回し発電機で、エネルギーを作り出す実験、更に電球の種類と二酸化炭素発生、電気代の違いを実体験する	45分	省エネグループ
	11	水素が地球をすくう！～燃料電池とは～見て・触れて・感じて～	燃料電池とはどんなものか、その燃料電池の応用例から、燃料電池に使う水素は、何故地球を救うことになるのか、未来を変えてくれる新しい技術なのかを知り、新しいエネルギーの可能性を考えるキッカケとする	①電池の種類を学び、燃料電池の仕組みを学び、燃料電池を知る ②燃料電池の応用事例を知り、川崎市のとりくみなど身近に使われはじめていることを知る ③燃料電池に使う水素が、何故地球を救うことが可能なのか、地球温暖化防止とどうつながるのかを考え、新しいエネルギーの可能性を考えるキッカケとする ④燃料電池を作り、LED、電子オルゴールを動作させる体験をする	45分	省エネグループ
	12	脱炭素とエネルギー	地球温暖化と脱炭素について学び、脱炭素のカギとなるエネルギーについて学ぶ機会をつくる市民の出したごみを焼却して出る熱・蒸気で発電した電気を販売する「川崎未来エナジー株式会社」の川崎市での役割と市民生活の関わりについて学ぶ	①気候変動・脱炭素について（20分） ②電気のいろいろ・再生可能エネルギー電気とは何か？（10分） 川崎未来エナジーのめざす脱炭素社会（10分） ③質問の時間（5分）	45分	川崎市地球温暖化防止活動推進センター /川崎未来エナジー株式会社

環境出前授業プログラム一覧（2／2）

太陽光発電などの自然エネルギー、地球温暖化と電気、節電・省エネ、エネルギー、植物の働き・効用などをテーマに、体験型やゲームで楽しみながら学べる多彩なプログラムを、市民活動グループ、川崎市地球温暖化防止活動推進センターで実施しています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

2025年4月

ジャンル	No	タイトル	ねらい	内容	所要時間	担当グループ
ライフスタイル	13	脱炭素を目指そう！ 3Rカードゲーム	身近で使うものが不要になった時、3つの「R」のどれにあたるかを考え、環境やSDGsとのつながりを確認する。適切な分別とごみ減量の重要性を知り、環境問題に関心をもつ	①川崎市のごみと3Rと脱炭素 ②3Rカードゲーム、グループ、または個々で考え、全員で共有する。（日常生活の中で出る廃棄物や身の回りのものが3Rのどれに当てはまるかを考えることで、3Rの実践力を養う）・分別体験ゲームとまとめ	約40分	3R推進プロジェクト
自然	14	SDGs はっぱはえらい＝樹木と二酸化炭素＝	温暖化の仕組みを理解し、木が地球温暖化防止に役立っていることから自然に関心を持ってもらい、自分ができる内容を実行・継続するきっかけとする	①教室で温暖化の仕組みとはっぱの働きを学ぶ ②校庭に出て「わたしの木」を決めて幹回りを測定し、その木が吸うCO2量を計算し、更にCO2を排出する家電・自動車などと比較して、樹木/森林の役目（特に光合成）が温暖化防止に役立っていることを理解してもらう	45分	省エネグループ
	15	五感を使って、生きものと緑に親しみ、「フィールド・ビンゴ」で見つけるネーチャーゲーム	学校敷地内や近くの森にいる、いろいろな生きものと緑を、見て、聞いて、匂いを嗅いで、触って、探して、普段気づかない豊かな自然を五感で楽しめます	①ガイダンス、進め方、注意事項の説明(10分) ②学校敷地内、または近くの公園や森で、様々な生きもの、緑を探して、五感を通した「記録」を行う(40分) ③振り返り。地域の緑、自然への気づきにつなげる（10分） ※オプション：緑のカーテン、植物の涼しさの秘密	約60分＋移動時間	環境教育学習プロジェクト
	16	生物多様性が危ない！森や木から考える	身近な自然の豊かさを知って生物多様性を守ることの大切さを学ぶ 自然環境の中で森や木の役割を知って、地域の緑の現状とこれからについて学ぶ 生物多様性の危機の原因を考えて、私たちの暮らしを見直す	①「生物多様性クイズ」での生物多様性の危機の原因について考える（10分） ②自然環境の中で森や木の役割と生物多様性についてスライドで学ぶ（20分） ③緑地や里山の森や木の異変で生物多様性にどんな影響があるかをみんなで話しあう（15分）	45分	川崎サバイバル
その他・全般	17	給食の牛乳パックは今どうなっているの？	学校給食の牛乳パックがどうなっているか？リサイクルするためにはどうしたらよいのかを専門家の情報を交え、児童たちに考えてもらおう。脱炭素・SDGsの取組としても、有効	①SDGs・脱炭素と川崎市の取り組み（10分） ②学乳パックは今どうなっているか？(5分) ③牛乳パックの製造工程（6分） ④学乳パックのリサイクル（10分） ⑤みんなで考えてみよう（10分） ⑥まとめ（3分）	約40分	3R推進プロジェクト /グリーンコンシューマーグループかわさき
	18	川崎の環境・エコへの取り組みを学ぶ（キャリア在り方生き方教育）	川崎における公害克服、川の汚染、環境対策、地球温暖化防止への市民、事業者、行政の共生、協働の取り組みを学び、郷土を大切にすることを考える	①川崎の環境への取組の歴史、これからを学ぶ ②市民活動、企業、学校、市役所など、様々な環境への取組を知り、自分たち、家族で出来ることを考える（実際に地域で環境に取り組む市民から、聞くことも可） ※参考：環境副読本「わたしたちのくらしと環境」	約40分	環境教育学習プロジェクト
	19	「総合的な学習の時間」、「探究学習」への支援	導入・展開に資する種々のプログラム提供、地域の市民・企業の環境活動・社会貢献等の取り組み情報の提供、学習進行への支援など	「水、川、地域の取り組み」「緑化の効用、地域の取り組み」、「生物多様性」「学校施設の適正利用、省エネ」「市民、企業の環境への取り組みから将来の進路を考える」	—	環境教育学習プロジェクト
	20	「総合的な学習の時間」のSDGs活用支援	SDGsの17のゴールを提示しつつ様々な課題を解決するための情報の提供と学習支援を行います 市内事業者・団体のSDGsの取り組み紹介および学習進行の支援をします	環境問題だけでなく、平和人権・まちづくりなど多様な視点を通じて、持続可能な社会を作るための支援を行います 市内事業者・団体のSDGsの取り組み紹介なども行います	—	川崎市地球温暖化防止活動推進センター
	21	動画で学ぶ地球温暖化 2050年の気候変化から考える	UNDP(国連開発計画)が製作した動画（2～3分）を見て、感想を共有しながら、2050年の「自分」から地球温暖化問題を考えます	UNDP（国連開発計画）が製作した動画、1本目は、恐竜が「絶滅を選ぶな」と問いかける作品。2本目は、2050年の気候変化を踏まえた「未来の天気予報」、対策として太陽光発電や風力発電などの発電が増えることで、働く場所が増えることを伝える作品。2本の動画を見て、感想を共有して、自分ごととして地球温暖化を捉えるきっかけを提供します	45分	川崎市地球温暖化防止活動推進センター
	22	気候危機・防災にスイッチオン！	地球温暖化とその影響を学び、ジブリゴトとしてとらえる体験を行う ハザードマップを見ながら自宅周辺と地域の状況を知る 防災に対する備えを知り、災害時に役立つ行動に繋がる体験をする 防災対策の体験を通して、気候危機と防災の知識と意識を高める	①気候危機の話（15分） 日常からの災害への備えを学ぶ（20分） ハザードマップの見方や地域の話（15分） ②ワークショップ 防災リュックに何を入れる？（20～40分） 新聞紙やラップの活用法・新聞紙工作（20～40分） ローリングストックについて（15分） ※時間・内容についても相談可能	45分 × 2コマ	川崎市地球温暖化防止活動推進センター /3R推進プロジェクト /机上防災訓練研究会

川崎市地球温暖化防止活動推進センター

川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 11階 高津市民館内
電話044-813-1313 ファックス044-330-0319
メール office@kwccca.com
ホームページ <https://www.ckkawasaki.jp/kwccca/>



kwccca
で検索してみてください！



エコちゃんず